

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：カンボジア

日付：2026 年 6 月 30 日

報告書名：令和 7 年度 完了報告書（JPF）

令和 7 年度 JPF 完了報告書

事業名	カンボジア西部 3 州の国内避難民支援にかかる緊急初動調査・緊急支援 Emergency Rapid Assessment and Humanitarian Assistance for Internally Displaced Persons in Three Western Provinces of Cambodia
事業対象地	カンボジア西部 バッタンバン州、バンテイミンチェイ州、ポーサット州
事業期間	2025 年 12 月 15 日～2026 年 1 月 11 日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	7,000,000 円
実施内容概要	2025 年 12 月に発生したカンボジア・タイ国境での軍事衝突により、多数の避難民が発生し、生活環境の悪化が懸念された。このため、避難所が設置されたカンボジア西部 3 州を対象に、避難民の状況・ニーズを把握し、JPF および当会の支援方針策定に必要な情報を収集するとともに、緊急支援を実施した。
成果の達成度	当初計画どおり、カンボジア西部 3 州の 8 避難所で初動調査を実施し、国内避難民の生活状況と支援ニーズを把握した。その結果、生計手段の喪失、栄養の偏り、水・衛生環境の不備、過密な居住環境、子どもの教育機会不足等のニーズを確認した。また、調査結果をもとに食糧、衛生用品、生活必需品を配布した。食糧支援では、停戦合意後の状況変化を踏まえて対象避難所を見直し、当初計画の 18 トンを上回る計 24.5 トンの米を配布できた。衛生用品および生活必需品についても概ね計画どおり配布した。
学びと提言	紛争下の避難民支援では、避難民の移動・帰還や他団体の支援状況により、ニーズが短期間で大きく変化する。本事業でも、停戦合意後に避難所の解体・統廃合が進み、支援対象やニーズが変化したことから、継続的な情報収集と柔軟な事業運営の重要性が確認された。 また、避難所ごとに支援内容・量に差がある一方、行政機関や支援団体間の統一的な調整体制は限定的であった。そのため、地方行政や避難所委員会を中心とした情報共有・調整と、定期的なモニタリングに基づく支援優先順位や対象地域の見直しが重要である。 さらに、国境周辺では治安状況が流動的で、レベル 3 地域外でも空爆が発生するなど、安全上のリスクが継続した。緊急初動調査・支援では、安全管理手順の整備に加え、政府機関、国際機関、他 NGO 等との情報共有を通じた継続的かつ多角的な安全情報収集が重要である。